

力強い決意と自覚

学校長のお話
4月全校集会



4月のスタートに、学校長から生徒たちへ力強いメッセージが贈られました。

1. 思いやりの心をもって生活してほしい

自分と友達の両方を大切にしてほしい。

相手を理解しようとする。それが信頼の深まりに繋がっていきます。

ここ四中で、心から信頼できる一生の友達を見つけてほしい。

2. 自分で考え判断し、責任をもった行動を

「自治」の校訓の具現化を。どうしたら具現化できるか、これは7年生でもできること。

集団生活の中での正しい判断を。学校は集団生活での様々なノウハウを学ぶところ。

自分たちの力で四中を創り上げ、盛り上げていってほしい。

3. 失敗を恐れず挑戦を！

先入観が可能を不可能にする。まずは、できる自分、越えられる自分をイメージすること。

成功、失敗ではなく、やってみること。

そして、諦めずにやり抜く！これが、失敗しても成功に繋がる秘訣です。

これらのメッセージをどう受け止め、どう自分事にしていくか。それが、今年の中四生のミッションです。これらのミッションを、仲間と一緒に達成できれば、四中での生活が最高なものとなっていくと思います。一人では難しいときは、仲間に頼ること、これも社会を生き抜く大事な力です。

いつもよりも、もう少しだけ笑って、いつもよりも、もう少しだけ頑張ろう…それだけで自分の中の光を輝かせていられます！ほんの少し、自分を奮い立たせることで、平凡な毎日にも心が動く何かが生まれます！学校長からのミッションを何回達成できるか、ぜひ挑戦してみてください。

大谷翔平選手の刺さる名言！

学校長の言葉に通ずる大谷選手の言葉をいくつか紹介します。



★毎日コツコツやるのが、遠回りに見えて一番の近道。

★やりたいことは全部やる。失敗してもやらないよりマシ。

★やれるかやれないかではなくて、自分次第。

★憧れるのをやめましょう。

★イラってきたら負けだと思っている。

★失敗は成功への通過点。

★人って変わるときは一瞬で変わる。

★自分の評価は自分でしないって風に決めている。

世界の大谷選手のようにはなれなくても、今の自分を少しだけ変えてくれる言葉もあるのでは…(^O^)/

雨に負けない心の強さ 市陸上競技会総合第3位



先日行われた市陸上競技会は、どしゃぶりの雨という厳しいコンディションの中での開催となりました。しかし、出場した生徒たちは誰一人として弱音を吐かず、「自己ベストを出す！」という強い思いを胸に、全力で競技に挑みました。

競技だけでなく、ハードルや棒高跳びのマットなどの準備・片付けにも積極的に参加し、大会の運営にも力を尽くしました。また、仲間がトラックやフィールドで頑張っている姿を見れば、全員が大きな声援を送り、会場に一体感が生まれていました。

どの場面にも、仲間を思いやる姿、自分の限界に挑む姿があらわれていました。まさに、技だけでなく「心の強さ」も輝いた一日となりました。



学校長のお話「1. 思いやりの心をもって生活してほしい」に関わって…

「がまん」が一番の思いやり

「自分のことは自分で決める」「自分の気持ちを大切にする」——そんな風に、自分の思いをもつことの大切さが、今の時代、よく言われるようになりました。それはもちろん、大切な力です。でも、時には「自分らしさ」を大切にしようとするあまり、相手のことが見えにくくなってしまうこともあります。

私の心に残っている言葉があります。娘が通っていた幼稚園のキャッチフレーズ『**がまんが一番の思いやり**』という言葉です。「がまん」というと、無理をする、我慢する、という少し辛いイメージがありますが、ここでの「がまん」は少し違います。

それは、「自分のため」ではなく、「相手のために」するがまん。例えば、自分が言いたいことをぐっとこらえて、相手の気持ちに寄り添う。自分がやりたいことを、困っている友達に譲る…。そんな風に「**相手を思う気持ち**」から生まれる**がまん**です。そこには、あたたかな優しさを感じられます。

モノや情報があふれ、自分の欲しいものや気持ちをすぐに表現できる今の時代だからこそ、学校という集団の中で、相手と共に生きる知恵や思いやりの「がまん」を学ぶことには、かけがえのない価値があります。



子どもたちには、日々の学校生活を通して、こうした優しさを育ててほしいと願っています。そして保護者の皆さまとも、そんな思いやりについて、共に語り合っていけたら嬉しく思います。